

# りぼん

# VOL.7

新見版

特集

# 平成の子育て事情



上手にできるかな？



せーの！！



みんなで餅つき、  
楽しいね



お餅ってやわらかいな～

## 円グラフの見方



# 子育て世代の役割分担 ランキング

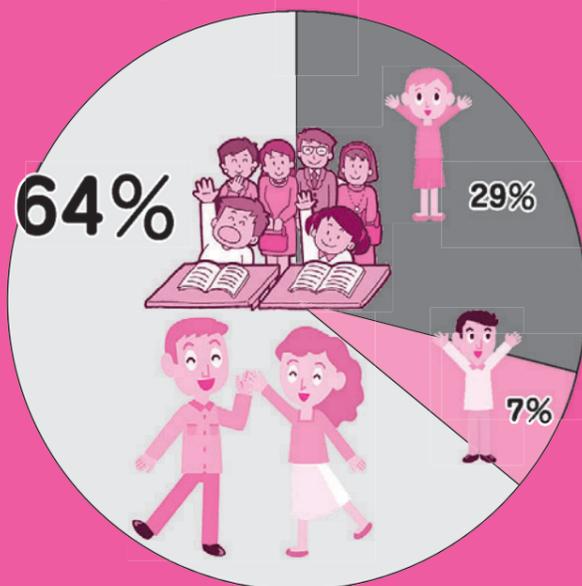
市内の保育所、幼稚園に通う幼児の保護者の方へアンケートを実施しました！！

今回の「りぼん」では、家庭での役割分担等についてアンケートを実施しました。アンケート結果から、対象を核家族の共働き世帯にしぼって、おもな6つの項目を役割分担ができてきている順でランキング形式でご紹介します。

昔と比べると役割分担ができつつあるようですが、**食事の準備では、まだまだ女性の負担が大きいです。**みなさんの家庭では、家事等の役割分担ができていますか？みなさんの家庭とアンケート結果を比べてみてはいかがでしょうか。

## 第1位

### 園・学校行事への参加



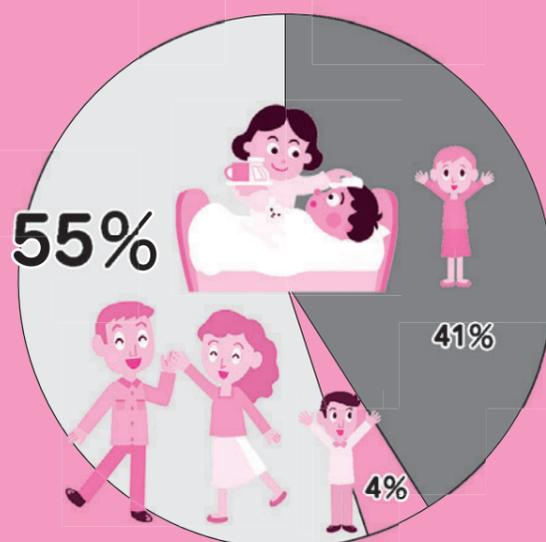
#### アンケートの自由意見 編集委員のコメント

- ・夫婦で参加したいと思うようになってきているんだろうね
- ・いろいろな役員の仕事も男女半々になってきた
- ・子どもがかわいいんだと思うよ
- ・父親だって子どもの様子が知りたいよ



## 第2位

### 子どもの看病

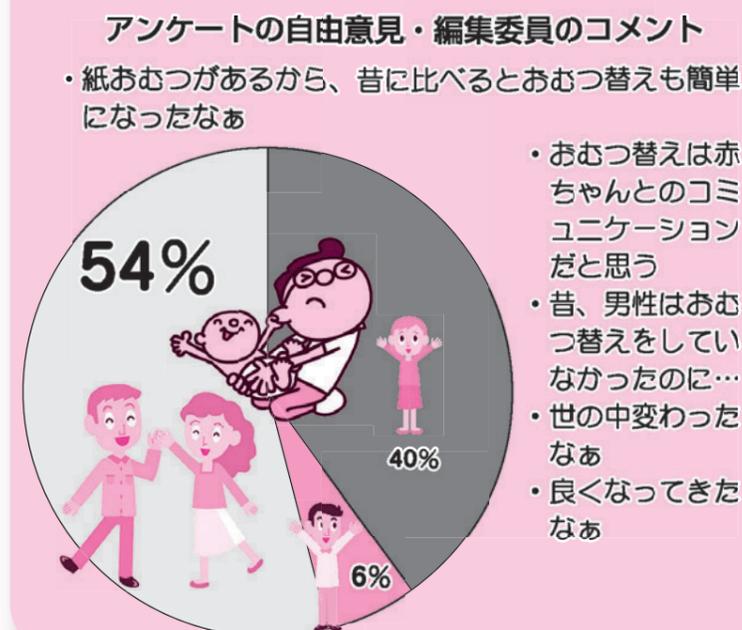


#### アンケートの自由意見 編集委員のコメント

- ・家族のために仕事を休めるようになればなあ
- ・看病などで休みが取れるように職場の環境整備も必要だね
- ・病院への送迎はしてるけど、看病は妻に任せちゃっているかもなあ…
- ・協力しないと、看病する人も疲れるよ
- ・子どもが病気だと、気にはなっているけど…

## 第3位

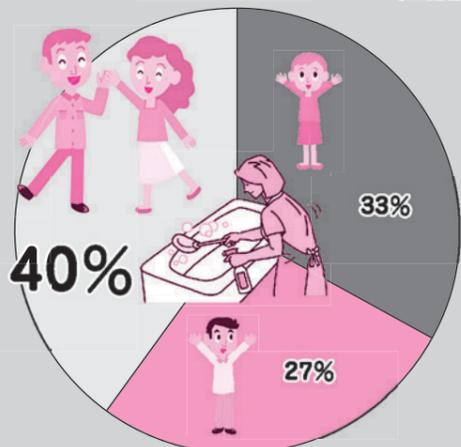
### おむつ替え



#### アンケートの自由意見・編集委員のコメント

- ・紙おむつがあるから、昔に比べるとおむつ替えも簡単になったなあ
- ・おむつ替えは赤ちゃんとのコミュニケーションだと思う
- ・昔、男性はおむつ替えをしていなかったのに…
- ・世の中変わったなあ
- ・良くなってきたなあ

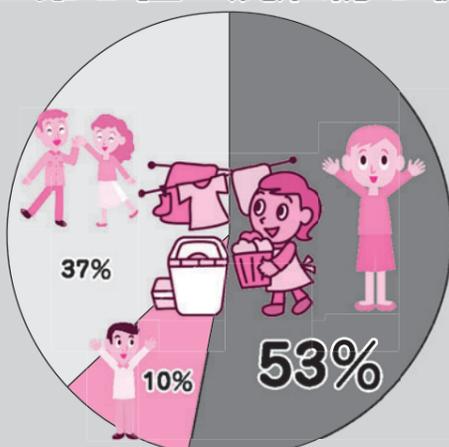
## 第4位 風呂掃除



#### アンケートの自由意見 編集委員のコメント

- ・風呂は最後に入った人が掃除すればいいのに…
- ・小さい頃にはみんなで役割分担をして風呂掃除をしていたよ
- ・食事の準備中に風呂掃除くらいはできるよね
- ・キレイな風呂は気持ちがいいよ

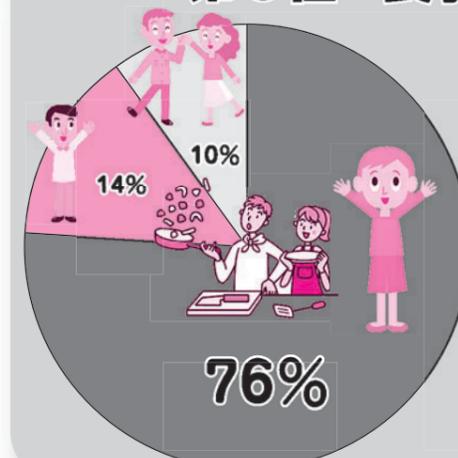
## 第5位 洗濯物の取り入れ、片付け



#### アンケートの自由意見 編集委員のコメント

- ・早く帰った人がすればいいのに…
- ・「誰の？」ではなく家(家族)の仕事と考えるべき
- ・夫が洗濯物を取り入れたり、片付けたりするのは、恥ずかしいことなのかな？
- ・アイロンがけは僕がしているよ
- ・手伝い気分ですっていると余計に面倒くさく感じるよ
- ・自分の仕事だとは考えていないのかな？

## 第6位 食事の準備



#### アンケートの自由意見 編集委員のコメント

- ・男の人はご飯を作るのが面倒くさいだけでは？
- ・ひとり暮らしの時はしていたはずなのに…
- ・買い物さえもしてくれない夫もいるよ
- ・買い物ぐらいしてよね～
- ・お母さんが病気になったらどうするんだろう

アンケートにご協力いただいた保護者のみなさん、ありがとうございました！！

## アンケートから自由意見の一部をご紹介します!!

両親と同居していませんが、夫の父も退職後に家事などを協力し、母も息子が家事をすることに好意的です。…妻が病気になったとき、毎日の生活で困ることのないように、男性も身の回りのことはできたほうがよいと思います。妻のために家事を手伝うのではなく、自分のために。  
(30代女性)

個人の才能を伸ばすことは大切。共同参画賛成です。  
(30代男性)

母子家庭のため、育児が難しいときがあります。保育サポーターなど地域の助けが必要になりますが、新見市は充実していないと思います。  
(30代女性)

男とか女とかこだわりを捨て、日々の生活の中でも得意分野で協力しあうことが大切だと思う。  
(30代女性)

今は男も女も型にはまらず、できる人ができていると思う。  
(30代女性)

男女共同参画社会以前に、“人”として、どうあるべきかが欠けていると思う。  
(40代男性)

私がほとんどの役割を担当していますが、近くに住む両親に助けってもらっていますし、休日には夫が洗濯物を干したり、お風呂洗いもしてくれたり、周囲の人に助けられています。  
(30代女性)

## 新しい図書のご案内

タイトル	著者
凜とした母親が日本を救う	金 美齡
モットナイで地球は緑になる	ワングリ・マータイ
夫婦は「気くばり」で9割うまくいく	吉岡 愛知
大人になる前に身につけてほしいこと	坂東 眞理子
人間の関係	五木 寛之
私の気ままな老いじたく	吉沢 久子

男女共同参画プラザの新しい図書をご案内します。これらの図書は男女共同参画プラザで閲覧できます。※貸出も可能です。

### 男女共同参画プラザ

まなび広場にいみ2階 メディアフロア—南側  
毎週火・水・木曜日 10:00~18:00  
電話 72-6159



## 編集後記

夫婦未経験の編集委員である私は、将来、お茶の間にも書いて貼りたいという言葉があります。それは「思いやり」です。男もいろいろ、女もいろいろ、夫もいろいろ、妻もいろいろ。「男の役割」、「女の役割」のイメージにとらわれず、自分にできることをやりたい!!人生のタッグを組む相手とは、お互いの個性や能力を尊重したいと思います。

りぼん編集委員をさせていただき、男女の協力や一人ひとりが生きやすい社会について、いろいろな場面で考えることが多くなりました。私が思う理想の家庭とは、お互いに頼らない、自分のことは自分ですという自己責任型の家庭ではなく、相手を思いやる家庭です。甘い考えかもしれませんが、相手の苦労や大変さに気づき、自然に動ける心のゆとりを持ちたいと思います…今のところ。

わかりづらい「男女共同参画」ではありますが、「思いやり」というシンプルな言葉が夫婦円満、家庭円満には欠かせないと思います。一番の強敵は、お互いへの無知、無関心ではないでしょうか。